

環境配慮個票

事業名	農業水路等防災減災事業	地区名	馬路	受益面積	0.96ha
関係市町村名	馬路村	予定工期	令和6年度～令和7年度		
総事業費	10,000千円	R7年度以降事業費	10,000千円		
総事業量	ため池廃止 1池	R7年度以降事業量	ため池廃止 1池		
マスタープランの区分	環境配慮区間	自然公園等の指定	無		
既存資料による希少種の情報の有無		有 (R6 環境調査資料)			
<p><b>周辺の環境</b></p> <p>本村は、高知県東部に位置し、周囲は標高1,000m級の山に隔たれた地域である。村の総面積は165.52㎏で、そのうち約96%が山林を占め、耕地面積は1%にも満たない。気象条件としては、山間部に位置するため内陸性気候であるが、太平洋で発生する黒潮上の湿った気流が四国山地に吹き付ける影響で雨が多く、日本屈指の多雨地域である。</p> <p>本地区は二級河川安田川水系である安田川に沿って位置し、年間を通じて温暖多雨で農産物の生産に適した気候である。地形は農地が昔ながらの段々畑状になっている。</p>					
<p><b>地区の環境の特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 <p>本地区は、村の中心地から少し外れたところに位置し、周辺はスギ・ヒノキ植林、特産であるユズや水稻栽培をされている農地が多く占め、それ以外では道路及び家屋が分布している。</p> </li> <li>・植物 <p>現地調査を行った結果、馬路地区で確認された植物は、47目97科283種であった。 希少種は、〇〇〇（環NT）、〇〇〇（環VU、県VU）の2種を確認された。</p> </li> <li>・動物 <p>現地確認を行った結果、馬路地区で確認された魚介類はサワガニ計1種、水生昆虫類はキベリヒラタガムシ計1種、両生類は〇〇〇等2目4科5種、爬虫類4種、哺乳類6種であった。 希少種は〇〇〇（環NT、県注）が生育・生息していることが確認された。</p> </li> </ul>					
<p><b>配慮すべき事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①希少な動植物への配慮</li> <li>②工事による自然環境への配慮</li> </ul>					
<p><b>配慮方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①植物についてはため池内で配慮すべき希少種は確認されず、ため池外や調査範囲外の林内で複数の株が散在して確認されており、特別に環境配慮対策を講じる必要は無いと考えるが、工事前に発見されたものは工事外へ移植などの措置を講じる。</li> <li>②動物についてはため池内で確認されたが、常に水があるわけではないため池は繁殖場所等の主な生息地環境としては機能していないと考える。また周辺の林地や果樹園でも確認されたことから、周辺の水辺環境に広く生息しているため、特別に環境配慮対策を講じる必要はないと考える。</li> </ul>					